

書 評

世界の鉄鋼業を訪ねて

松 田 常 美 著

著者は1983年から1988年までの5年間国際鉄鋼協会副事務局長としてブリュッセルに駐在した。この間自由世界における鉄鋼界のリーダー、エンジニアに接触するとともに、各国の製鉄所（一貫からミニミルまで）、研究所を精力的に訪問している。駐在した5年間は、EC危機対策、米国再構築、NIES躍進と日本を含めて世界鉄鋼業が大きく揺れ動いた時期である。

本書はこの激動の時期に仕事を通して得た体験の記録である。ある国の鉄鋼業を理解するには、その国の歴史的背景、ものの考え方等風土をよく知っておかねばならないとの認識に立って、あくまで著者が見、かつ感じた主観であり、数多くの友人から得た話だと断りながら、各国鉄鋼業の特質を鮮明に浮かび上がらせている。随所に挿話を入れ、時に日本鉄鋼業との歴史的関わりを折りまぜて、読む者を飽きさせない。私も本書を手にして一気に読みあげたものである。著者は長く製鉄所現場におり、また、米国留学、米国事務所駐在、数多くの海外出張のバックグラウンドを持つが、深く鋭い観察には敬服のほかはない。

一山を越えたとはいえ、先進国鉄鋼業の構造改革は統

く、EC統合、東欧の変化、貿易摩擦等我々の前途には楽観を許さない要因が多いが、本書は我々の進む方向に一つの指標を与えてくれるであろう。我々は世界各国鉄鋼業の間で協調と競争のなかに生きてゆかねばならないが、それには何よりも相互理解が必要である。最後に著者は次のように言っている。これから海外の鉄鋼業に接しようとする方に何らかの手がかりになれば幸いであると。

(新日本製鉄(株)顧問 細木 繁郎)
B6判 321 ページ 定価 1500 円
1989年11月 発行

下記より入手が可能です。

価 格：1200 円 (定価 1500 円)

申込方法：(株)日鉄技術情報センター

東松 良光 宛

〒102 東京都千代田区麴町1丁目6番地
(相互麴町第二ビル)

TEL. 03-239-4711 FAX. 03-239-4714

はがき、FAX、電話で冊数、送付先住所、氏名、電話等をお知らせ下さい。

お支払い：3冊以上は、送料無料で。

お支払いは現品到着後、銀行振込(三菱銀行藤沢支店 4728940 トウマツヨシミツ)または、現金書留で上記東松宛御送金願います。

書 評

百万人の化学史

「原子」神話から実体へ

筏 英 之 著

日本は欧米の科学技術の成果のみを利用し、その成果が得られるまでの過程には注意を払わないという批判がある。たしかに、学校では、これはこうですよ、というように、教科書に書かれていることは既成事実のように教えている。しかし、これでは生徒や学生は自然界の現象はすべて分かったような錯覚に捕らわれ、新しい発見をしようというような意欲は湧かないのではないだろうか。そのようなわけで、私の熱学の講義では、温度と熱の概念の分離、熱とエネルギーの等価性、熱力学の三つの法則など、それらが導かれた過程を辿り、学生に問いかけながら講義を行っている。本書では、それらも含め

て、より広く、物質の構造や化学の法則が導かれる過程が示されている。内容は、単に、年代順に過程を追うのではなく、教科書に出てくる有名な学者たちの相互交流や、苦悩する姿、報われることもあり報われないこともある運、不運など生々しいものである。混沌のなかから理論が整理されていく過程を目の当たりにすると、血涌き肉踊る思いで、一気に読破してしまった。また、日頃研究にいそしむ者として、大いに勇気づけられた。多少厳密性に欠ける箇所も見受けられるが、学生に勧めたい本である。本書を読んだ後で、一見訳の分からない製鉄製鋼現場の現象の中から、規則性を見出し、技術の改善を重ねてこられた製鉄製鋼の技術者研究者の皆さんのご苦勞が偲ばれた。本書の冒頭には、化学の原点は冶金(錬金術)である由書かれていることでもあり、鉄鋼業に従事される方が読まれても、共感の得られる本であろう。

(豊橋技術科学大学 川上 正博)
A5判 250 ページ 定価 2920 円
1989年10月 アグネ承風社発行